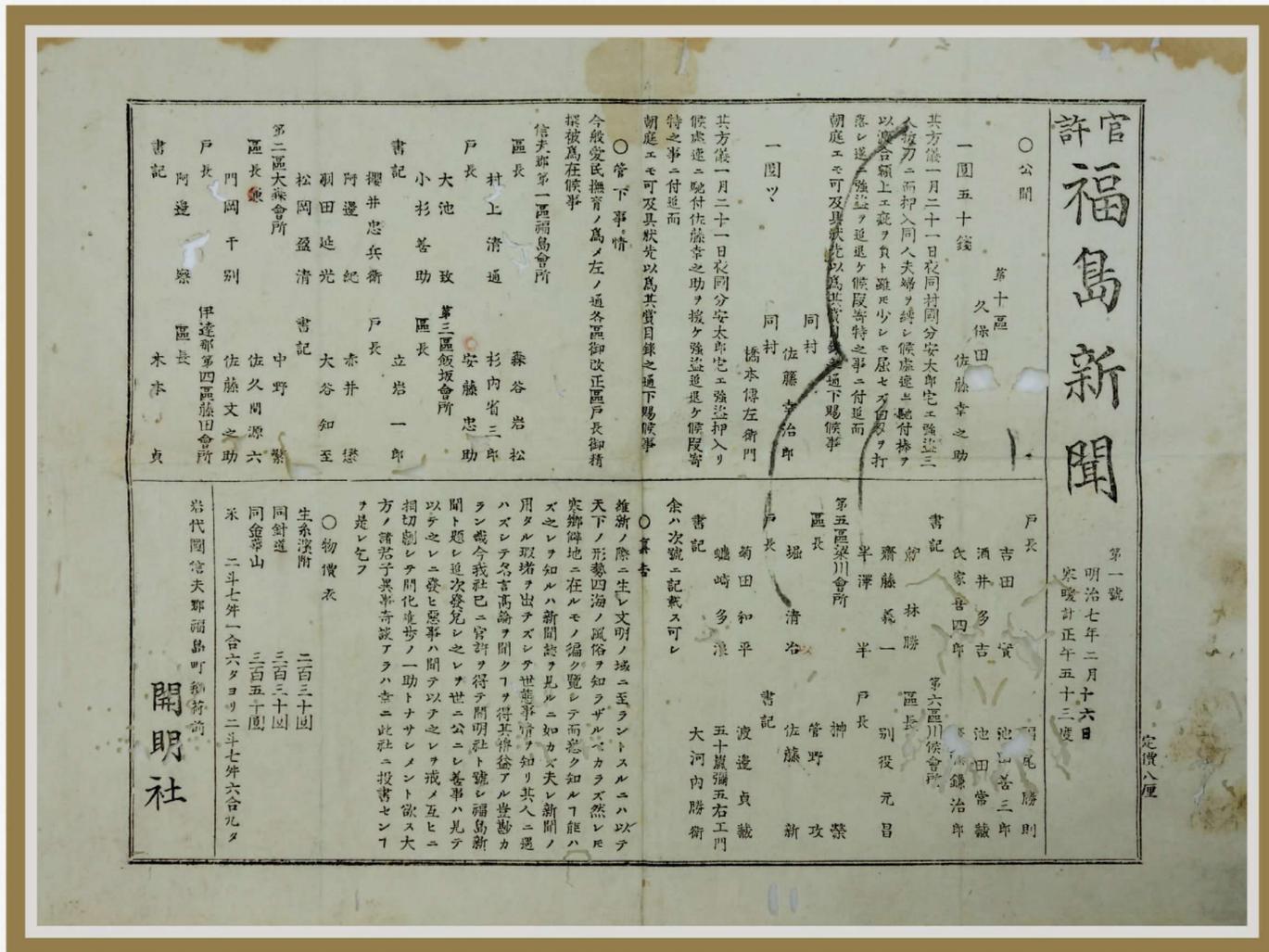


ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》



令和6年度福島県歴史資料館収蔵資料展 新公開史料展



官許福島新聞 第一號 (井筒平氏寄贈文書1)

整理が完了した歴史資料を初公開 文書群の魅力と特徴的史料を紹介

令和6(2024)年3月に発行した『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第55集に収録され、新たに公開となった文書群を展示する。

新聞資料等の「井筒平氏寄贈文書」、明治期の雑誌資料「金子一郎氏寄贈文書」、「福島大学明治期布達集(その1)」、二本松藩士ゆかりの「安井健夫家文書(その1)」、伊達郡小坂村(現国見町)ゆかりの「高原庄一家文書(その1)」、伊達郡藤田村ゆかりの「国見町藤田区有文書(その3)」から、文書群の魅力と特徴的史料を紹介する。

2月4日(火)からは後期展示を開催中。「伊豆国海嶋風土記 三・四」(安井健夫家文書(その1)129)ほか、一部資料を入れ替えて展示している。



伊豆国海嶋風土記 三・四 (安井健夫家文書(その1)129)

【会期】開催中～3月23日 日

9:00～17:00(最終入館 16:30)

- 【会場】福島市・県歴史資料館
- 【料金】無料
- 【休日】月曜日、2/25
- 【主催】公益財団法人福島県文化振興財団
- 【問合せ】資料館(024)534-9193

※3月16日(日)午後1時30分からは、同館学芸員による展示解説会を開催

Event Schedule

イベントスケジュール 3月

※本誌に掲載した情報は、すべて2月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

《スケジュール内の記号について》
チケット販売中 チケット販売中
障がい者割引 障がい者無料
手帳など証明書類を要持参、主催者へ要問合せ
所 開催場所
時 開演・開始時間
休 休館日
料 料金
出 出演予定者
曲 演奏予定曲
講 講師予定者
題 演題
問 お問い合わせ
 ※(前売)の記載がない場合、当日券の料金(税込み)

音楽

3/2(日)
アリオス《トーク&ライブ》スペシャルvol.2
加藤昌則(ピアノ)・北村聡(バンドネオン)
ザ・バンドネオン・ヒストリー ～音絵巻～
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス **時** 14:00
料 一般1,500円、U25(小学生以上25歳以下)800円
 withチケット(介助者用チケット)500円
 ※車いす席あり(要問合せ)
出 加藤昌則(ピアノ、作曲家)、北村聡(バンドネオン)
 黒澤彩(語り、バンドネオンの声)
曲 J.S.バッハ「G線上のアリア」、加古隆「光と影のバラード」
 ピアソラ「リベルタンゴ」ほか
問 アリオスチケットセンター(0246)22-5800
 ※ドイツ生まれの楽器「バンドネオン」の歴史を音楽と共に紹介するドラマ仕立ての公演。いわき市出身で劇団朋友の元団員・俳優の黒澤彩が語りとして、バンドネオン役を演じる。未就学児入場不可。

3/8(土)
二本松音楽協会第99回定期演奏会
白井 圭 孤高の無伴奏ヴァイオリンの世界
所 二本松市コンサートホール **時** 13:30
料 (前売)一般・大学生3,700円
 小・中学・高校生1,000円
 (当日)一般・大学生4,000円
 小・中学・高校生1,000円
曲 N.パガニーニ『24のカプリース』作品1から 第5番、第6番、第7番、第8番
 J.S.バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 ト短調 BWV1001」ほか
問 事務局(080)4519-0454
 ※ミュンヘン国際コンクール第2位をはじめ、多くの受賞歴をもつバイオリン奏者。未就学児入場不可。



3/9(日)
きたかたミュージックフェア2025
澤田知可子 Friendship Concert vol.4
スペシャルゲスト 中西保志
所 喜多市・喜多方プラザ文化センター
時 15:30 **料** 《全席指定》6,000円
問 喜多方プラザ文化センター(0241)24-4611
 ノースロードミュージック(022)256-1000
 ※未就学児入場不可。

3/16(日)
3月のコンサート
ピアノとブロックフレーテの調べ
～春光に奏でるクラシック&古関裕而の名曲～
所 福島市古関裕而記念館 **時** 14:00
料 入館料として高校生以上300円、小・中学生100円
出 鈴木桂子(ピアノ)、村上敏通(同館館長、ブロックフレーテ)
問 記念館(024)531-3012
 ※定員先着80名(要申込)。3月2日(日)午前9時より電話にて申込受付。未就学児入場不可。

3/16(日)
田村市文化センター自主文化事業
「三味線×チェロ 和洋弦楽の調べ」
所 田村市文化センター **時** 14:00
料 一般・大学生2,000円
 高校生以下1,000円
 3歳以下膝上鑑賞無料(席が必要な場合は有料)
出 しゃみお(三味線)、ヌビア(チェロ)
 Gasta(ピアノ)、緑狐会(三味線)
曲 津軽じょんがら節ほか
問 田村市文化センター(0247)82-5030
 ※三味線とチェロの弦楽ユニット「3x4xS(さしす)」によるコンサート。伝統音楽やポップス、即興演奏を披露する。



3/20(木・祝)～3/23(日)
第18回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 各日とも10:00
料 (前売)部門別コンテスト(1日券)2,500円
 本選(1日券)3,000円
 4日通し券9,000円
 (当日)部門別コンテスト(1日券)3,000円
 本選(1日券)3,500円
問 実行委員会事務局(県文化振興課内)
 (024)521-7154
 ※少人数編成の合唱グループによるコンテスト。20日(木・祝)は中学校、21日(金)は高校、22日(土)は小学校・ジュニアと一般部門の予選を行い、最終日に各部門金賞受賞団体による本選を行う。23日(日)は大沼徹さん(バリトン)、小林英之さん(パイプオルガン)によるスペシャルコンサートも開催。4歳未満入場不可。インターネットによる有料オンライン配信もある。詳細は要問合せ。



3/23(日)
会津フィルハーモニックウィンズ
スプリングコンサート2025
所 喜多市・喜多方プラザ文化センター
時 14:00 **料** 小学生以上800円、未就学児無料
出 佐藤裕樹(指揮)、荒海翔(ピアノ)、江見悠希(トロンボーン、会津若松市出身)、会津フィルハーモニックウィンズ(吹奏楽)
曲 矢代秋雄「吹奏楽のための祝典序曲『白銀の祭典』」ほか
問 実行委員会(090)3361-3946
 ※会津地区の青少年が学校や職場の垣根を超えて音楽に親しむことを目的に設立された団体。指揮は、郡山市立湖南小中学校教諭の佐藤裕樹さん。同団体公式YouTubeチャンネルでもライブ配信予定。

3/23(日)
川口成彦 ピアノリサイタル
所 南会津町文化ホール(御蔵入交流館) **時** 14:00
料 《全席指定》
 (前売)一般・大学生2,500円、小・中学・高校生1,000円
 (当日)一般・大学生3,000円、小・中学・高校生1,500円
曲 ショパン「マズルカ『ノートル・タン』遺作」ほか
問 南会津町文化ホール運営委員会(南会津町教育委員会 生涯学習課 芸術文化係内)(0241)62-6311
 ※第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクールで第2位受賞のピアニストが出演。ゲストに南会津町出身のオペラ歌手・

阿部祥子を迎える。未就学児入場不可。
3/23(日)
心に花を咲かせよう合唱団コンサート
～歌声で咲かせる復興の花～
所 三春町・三春交流館「まほら」 **時** 14:00 **料** 無料
出 心に花を咲かせよう合唱団(合唱)、福永一博(指揮)
 寺本沙綾香(ピアノ)、まほら合唱団(合唱)
曲 BELIEVEほか **問** まほら(0247)62-3837
 ※東日本大震災の復興支援の力になりたいという想いを持つ東京都内の音大生らを中心に、作曲家・上田真樹の呼び掛けで結成された合唱団。

3/30(日) **チケット販売中**
福島室内合唱団 第6回 定期演奏会
所 福島市、キョウウグループ・テルサホール(福島テルサ)
時 14:00 **料** 2,000円
出 福島室内合唱団(合唱)
 男声合唱団「トリンクリート」(同)
 ムジカテン・コア・ふくしま(同)
 福島楽友協会管弦楽団(管弦楽)
 富山律子(ピアノ)、高麗正宣(指揮)
曲 ロマン派の女声合唱曲より ほか
問 事務局(024)524-1630
 ※県内全域より会員を募り、2007(平成19)年に設立した女声合唱団。男声合唱団「トリンクリート」と合同で歌う混声合唱も披露する。指揮は福島県合唱連盟名誉理事長を務める高麗正宣さん。乳幼児同伴不可。



舞台

3/8(土)・9(日)
リージョナル・シアター 2024
いわきアリオス演劇部+ (プラス)「DOLL」
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
時 8日18:30、9日14:00
料 一般2,000円、U25(小学生以上25歳以下)1,000円
 withチケット(介助者用チケット)500円
 ※車いす席要問合せ
問 アリオスチケットセンター(0246)22-5800
 ※いわき市民とプロの演出家が様々な演劇を創作する「いわきアリオス演劇部+」による公演。高校生から60代までの24名の市民と劇団「theater apartment complex libido:」が、劇作家・如月小春の戯曲「DOLL」を披露する。未就学児入場不可。

注目 **3/9(日)** **チケット販売中**
第22回 飯坂温泉太鼓まつり
県内外8団体が集結、和太鼓の勇壮な音色を響かせる
所 福島市・パルセいいざか(福島市飯坂温泉観光会館) **時** 13:00
料 (前売)中学生以上3,000円 ※前売は「中学生以上」のチケットのみ販売
 (当日)中学生以上3,500円、満1歳以上小学生以下1,500円
 障がい者中学生以上1,500円、障がい者満1歳以上小学生以下1,000円
問 飯坂温泉太鼓まつり実行委員会(飯坂温泉観光協会内)(024)542-4241
 ※迫力ある太鼓演奏が繰り広げられる恒例の太鼓まつり。県内からは、第13回東北太鼓ジュニアコンクールで優勝した「岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組」ほか4団体、県外からは、石川県の「和太鼓サスケ」ほか1団体が出演。このほか、宮崎県を中心に国内外で活躍する「@HIBIKIZa」も特別編成で演奏する。



注目 **3/23(日)**
第10回ハイスクール劇王～高校生短編演劇競技大会～
劇作・演出・役者・舞台技術の全てを高校生が担う短編演劇コンテスト
所 白河市・白河文化交流館コミネス **時** 12:45
料 (前売)一般・大学生1,000円、高校生以下500円 (当日)一般・大学生1,500円、高校生以下800円
出 岡山学芸館高校 池田萌衣作「家出の前に」、日比谷高校 小山千翔作「ペルソナ」、日本体育大学 柏高校 田中菜奈作「また明日ここの踏切で」、福島しあわせ運べるように合唱団 熊谷ひかり作「みつめる」、岡山学芸館高校 松田澤作「追想の住処」 **問** コミネス(0248)23-5300
 ※白河市で2014(平成26)年から続く高校生対象の短編演劇大会。応募総数19作品の中から戯曲審査を通過した5作品を上演し、審査員と観客の投票で優勝者「劇王」を決定する。第10回大会記念として、劇作家・佃典彦の戯曲講座を表彰式後に開催。未就学児入場不可。



3/16(日) **障がい者割引**
市民でつくる演劇「アリ to キリギリス」
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 14:00
¥ 高校生以上500円
中学生以下無料(要入場券、未就学児の
膝上鑑賞は入場券不要)
※車いす席は要問合せ
所 郡山市民文化センター (024)934-2288
※市民演劇団体やプロの劇団等の協力のもと、公募により集まった郡山市民が作り上げた作品を披露する。



3/29(土)
獅・息吹連続公演 現代版組踊
「獅Leon～會津宰相氏郷」
所 会津若松市・會津風雅堂 時 12:30、17:30
¥ 《全席指定》(前売) S席5,000円、A席3,000円
(当日) S席5,500円、A席3,500円
※18歳以下を対象とした無料招待あり、詳細は要問合せ
所 息吹公演事務局 (0241)78-7077
※沖縄の伝統芸能「組踊」の様式をベースに、現代的な音楽・舞踊・台詞の3つの要素で構成された舞台。会津若松の武将・蒲生氏郷公を題材にした演劇公演のリハーサルの様子を描く劇中劇を披露する。

3/30(日)
獅・息吹連続公演 現代版組踊
「息吹～南山義民喜四郎伝」
所 会津若松市・會津風雅堂 時 12:30、17:30
¥ 《全席指定》(前売) S席5,000円、A席3,000円
(当日) S席5,500円、A席3,500円
※18歳以下を対象とした無料招待あり、詳細は要問合せ
所 息吹公演事務局 (0241)78-7077
※沖縄の伝統芸能「組踊」の様式をベースに、現代的な音楽・舞踊・台詞の3つの要素で構成された舞台。幕末の会津鶴ヶ城と幕府直轄領南山御蔵入騒動を描く。

自主上映

3/7(金)
郡山市中央図書館 映画会「猫侍」
所 郡山市中央図書館 時 10:00、14:00
¥ 無料(要整理券) 問 図書館(024)923-6616

※定員各回当日先着100名。各上映開始時間30分前に整理券配布。上映作品は、人斬りと恐れられた幕末の剣士が愛らしい猫と触れ合い、次第に変化していく姿を描いた時代劇コメディ「猫侍」(2014年、100分)。

3/9(日)
白河市東文化センター 定期映画上映会 第7弾
「石岡タロー」
所 白河市東文化センター 時 13:30
¥ (前売)一般・大学生800円、高校生以下500円
(当日)一般・大学生1,000円、高校生以下500円
問 東文化センター (0248)34-1131
※定員347名。茨城県石岡市を舞台に、1匹の保護犬が飼い主を探すために駅に通い続ける姿や、犬と人々との交流を、実話をもとに描いたドラマ(2023年、101分)。東文化センター窓口、電話、FAX (0248)34-1133、Eメール higashibunka@cominess.jpで事前予約可。

展 示

開催中～3/9(日) **障がい者無料**
冬季企画展「雛人形展」
所 須賀川市立博物館 時 9:00～17:00(最終入館16:30)
休 2/25、3/3
¥ 一般200円、高校・大学生100円
中学生以下・65歳以上無料
問 博物館(0248)75-3239
※1970(昭和45)年の開館以来、毎年開催されている企画展。今年は「雛人形と和の設え(しつらえ)」をテーマに、江戸時代から現代までの雛飾りに、日本家屋で空間の装飾や間仕切りとして活用されてきた「屏風」などをあわせて展示する。3月1日(土)午後2時からは同館学芸員によるギャラリートーク、3月2日(日)は工作などを楽しめる「博物館のひな祭り」も。

開催中～3/10(月)
新春特別展示「高砂図ー鴻巣一善 筆ー」
所 会津美里町郷土資料館 さとりあ
時 9:00～16:30(最終入館16:00) 休 火曜日
¥ 一般・大学生220円、小・中学・高校生110円
問 さとりあ(0242)79-1900
※現在の会津美里町出身の絵師・鴻巣一善(こうのすいちぜん)が描いた、正月や祝いごとの際に飾る掛軸「高砂図」を展示する。観覧者は1人1回「さとりあガチャ 福くじ」にて、運だめしのくじを引くことができる。

開催中～3/23(日)
県歴史資料館収蔵資料展
「新公開史料展」
所 福島市・県歴史資料館
時 9:00～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日、2/25
¥ 無料 問 資料館(024)534-9193
※詳細は表紙参照。



開催中～3/23(日) **障がい者無料**
生誕130年記念
北川民次展ーメキシコから日本へ
所 郡山市立美術館
時 9:30～17:00(最終入館16:30) 休 月曜日、2/25
¥ 一般1,000円、高校・大学生・65歳以上700円
中学生以下無料
問 美術館(024)956-2200
※洋画家・壁画家・絵本制作者・美術教育者など多彩な側面をもつ北川民次の作品と資料約180点を展示する。3月1日(土)午後2時からは同館学芸員によるギャラリートーク、3月9日(日)午後2時からは同館学芸員による美術講座もある。

開催中～3/24(月) **障がい者無料**
長期避難と祭り
ー伝統文化がつなぐ地域住民の絆ー
所 双葉町・東日本大震災・原子力災害伝承館
時 9:00～17:00(最終入館16:30)
休 火曜日(3/11をのぞく)、2/26～2/28
¥ 一般・大学生600円
小・中学・高校生300円
問 伝承館(0240)23-4402
※東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の被災地である双葉郡8町村と飯館村で行った、民俗芸能の復活に取り組む団体代表へのインタビューや活動年表などをまとめたパネル、神輿や獅子頭などの実物、伝統芸能の映像など計約100点を展示する。詳細はインタビューコーナー参照。



開催中～3/30(日) **障がい者無料**
蔵王こけしの系流
所 福島市・原郷のこけし群 西田記念館
時 10:00～17:00(最終入館16:30) 休 月曜日、2/25
¥ 高校生以上300円、中学生以下無料
問 記念館(024)593-0639

※明治中頃以降に宮城県側から木地技術が伝わったのち、山形県の蔵王温泉で作られるようになった、豪華絢爛な作風が特徴の蔵王こけし約370点を展示する。

開催中～3/31(月)
てくてく須賀川 芭蕉と旅する絵図
所 須賀川市・風流のはじめ館 時 9:00～17:00
休 火曜日 ¥ 無料 問 風流のはじめ館(0248)72-1212
※各時代の俳人たちと松尾芭蕉の関わりが記された資料と絵図から、芭蕉が須賀川に滞在した8日間の足跡を辿る。

開催中～3/31(月) **障がい者無料**
描かれた源義家
所 いわき市勿来関文学歴史館
時 9:00～17:00(最終入館16:30) 休 3/19
¥ 一般330円、中学・高校・大学生220円、小学生170円
問 歴史館(0246)65-6166
※前九年の役での活躍で知られる平安時代の武士・源義家を描いた絵画「絹本着色勿来関詠歌の図」などを展示する。3月9日(日)・20日(木・祝)いずれも午後2時からは同館学芸員によるギャラリートークもある。

開催中～5/6(火・振休) **障がい者無料**
伊達市保原歴史文化資料館 収蔵資料展
「ふるさとの山 霊山」
所 伊達市保原歴史文化資料館
時 9:00～17:00(最終入館16:30)
休 火曜日(4/29、5/6をのぞく)、4/30
¥ 一般・大学生210円、小・中学・高校生100円
問 資料館(024)575-1615
※伊達市と相馬市にまたがる霊山で採集された進駐軍が投棄したガラス瓶など、霊山の歴史に関連する収蔵品を展示する。

開催中～5/6(火・振休)
復興祈念展ー人びとのいとなみの継承ー
所 白河市・県文化財センター白河館まほろん
時 9:30～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(4/28、5/5をのぞく)、2/25、4/30
※3/17～3/31は展示替えのため観覧不可
¥ 無料 問 まほろん(0248)21-0700
※双葉町・大熊町にある中間貯蔵施設内の遺跡と、浪江町・富岡町・楮葉町における、復興道路の建設に伴う遺跡調査の成果を、同館の収蔵資料及び各町の所蔵資料から紹介。



注目 3/15(土)～6/8(日) **障がい者無料**
草野心平の書画展
詩人・草野心平の多彩な創作活動とその魅力にせまる
所 いわき市立草野心平記念文学館 時 9:00～17:00(最終入館16:30) 休 月曜日(5/5をのぞく)、5/7
¥ 一般440円、高校・大学生330円、小・中学生160円 問 文学館(0246)83-0005
※草野心平は、約1,400篇の詩以外に、書画も数多く制作した。県立磐城中学校(現・県立磐城高校)在学中には美術部「X会」に入部して絵画を制作。その後、詩人として活躍するかたわら、1956(昭和31)年にアマチュアのデッサングループ「竹林会」を結成。9年後には書画を出品した個展を初開催し、それ以降日本各地で20回の個展を開いた。1977(昭和52)年には書の作品集『草野心平之字』が刊行されている。本展では、多彩な創作活動から生み出された書画を展示し、詩人独特の感性で創作された作品の魅力を紹介する。



草野心平「滝桜」(個人蔵)

注目 3/22(土)～5/25(日) **障がい者無料**
THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦
新版画を世に送った渡邊庄三郎の挑戦の軌跡を紹介
所 福島市・県立美術館 時 9:30～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(4/28、5/5をのぞく)、4/30、5/7
¥ 一般・大学生1,000円、高校生600円、小・中学生400円 問 美術館(024)-531-5511
※明治末期から昭和にかけて活躍した浮世絵商・版元の渡邊庄三郎。浮世絵研究と販売のほか、鑄木清方門下の新進気鋭の画家たちとともに、高品質な材料を用いて幾度も摺りを重ね、「ざら摺り」という新たな技法を取り入れた「新版画」を創始した。本展では、残存数が少ない貴重な初摺の渡邊版約180点からその挑戦の軌跡をたどり、新版画の魅力を紹介する。3月29日(土)午後1時30分からは同館学芸員によるギャラリートークも。



高橋弘明(松亭)《白猫》1926



3/1(土)～3/23(日)
第30回「2024公募：ふるさとの風景展 in 喜多方」
 所 喜多方市美術館 時 10:00～18:00(最終入館 17:30)
 休 水曜日 料 一般300円、小・中学・高校生100円
 65歳以上75歳未満150円、75歳以上無料
 問 美術館(0241)23-0404
 ※1995(平成7)年の開館以来、毎年開催している公募展。一般・青少年の部の入賞・入選作品など計57点を展示。

3/2(日)～3/23(日)
「矢吹町の歴史」原始から中世…そして現代へ
 所 矢吹町ふるさとの森芸術村
 時 9:00～17:00(最終日は15:00まで)
 休 月曜日 料 無料 問 芸術村(0248)42-4506
 ※矢吹町内で発見された旧石器時代の石器や6世紀の古墳から、昭和時代に行った矢吹が原の大規模な国営開墾事業についてまで、同町の文化財保護研究会がまとめた展示パネルや実物を用いて同町の歴史を紹介する。

3/22(土)～3/30(日)
Seed Stories(シードストーリーズ)24_25
 所 鏡石町・鏡石鹿嶋神社参集殿 時 10:00～17:00
 休 会期中無休 料 無料 問 参集殿(0248)62-1670
 ※筆塚稔尚、古木宏美、平瀬恵子ほか22名の版画作家による「TIME」をテーマとした作品の全国巡回展。

県外

開催中～3/16(日) **障がい者無料**
皇室の名宝と新潟 一皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美
 所 新潟県立近代美術館
 時 9:00～17:00(観覧券販売は16:30まで) 休 2/25、3/10
 料 一般1,400円、高校・大学生1,000円、中学生以下無料
 問 美術館(0258)28-4111
 ※皇居三の丸尚蔵館収蔵の近世絵画の名品をはじめ、近代の油彩画や日本画、工芸品など約50点を展示。また、明治天皇の北陸巡幸写真パネル、新潟ゆかりの作家による絵画や工芸品なども展示し、皇室と新潟の関わりも紹介する。

開催中～3/23(日) **障がい者割引**
コレクション展 「新収蔵品展 米沢・上杉の歴史と文化」
 所 山形県・米沢市上杉博物館
 時 9:00～17:00(最終入館 16:30) 休 月曜日、2/25
 料 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生200円
 問 博物館(0238)26-8001
 ※2018(平成30)年度以降に同館へ寄贈・寄託された歴史資料を中心に、上杉氏ゆかりの文化財をはじめ、米沢藩ゆかりの刀剣と蒔師(とぎし)の活動がうかがえる古文書、幕末の志士・雲井龍雄が家族に送った手紙、米沢の景観を捉えた絵はがきなど、初公開の資料のみを展示する。

開催中～6/22(日) **障がい者無料**
ティーカップ・メリーゴーラウンド ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年～岐阜県現代陶芸美術館コレクション
 所 茨城県陶芸美術館
 時 9:30～17:00(最終入館 16:30)

休 月曜日(5/5をのぞく)、2/25、5/7
 料 一般・大学生950円、高校生710円
 小・中学生360円、70歳以上470円
 問 美術館(0296)70-0011
 ※19世紀半ばから20世紀半ばまでの約100年間に焦点を当て、ドイツのマイセンやフィンランドのアラビアなどのティーウェアやコーヒーウェアを中心に陶磁器の名品を紹介。

講演・講座

3/1(土)
講演会「福島県における復興調査について」
 所 白河市・県文化財センター白河館まほろん
 時 13:30 料 無料 講 齋田克史(県教育庁文化財課)
 問 まほろん(0248)21-0700
 ※「復興祈念展一人ひとりのいとなみの継承」関連イベント。東日本大震災および福島第一原子力発電所事故からの復興・復興事業に伴う埋蔵文化財保護行政のこれまでと、福島県が目指すべき姿についての講演。

3/8(土)
文芸講演会「詩人・草野心平—いかに心平が心平になったか」
 所 いわき市立草野心平記念文学館 時 14:00 料 無料(要申込)
 講 澤正宏(福島大学名誉教授)、和合亮一(詩人)
 問 文学館(0246)83-0005
 ※定員先着70名(要申込)。師弟関係にある2人が、草野心平の詩について語る。3月7日(金)午後5時まで、文学館の電話または同館ホームページに記載の申込フォームにて申込受付。

3/9(日)
美術講座「北川民次の絵画制作」
 所 郡山市立美術館 時 14:00 料 無料
 講 新田量子(同館学芸員) 問 美術館(024)956-2200
 ※「生誕130年記念 北川民次展—メキシコから日本へ」関連イベント。絵具などの素材を深く研究しながら制作していた画家・北川民次の独創的な作品がいかにして生まれたのか、技法や素材に着目しながら探る。

3/29(土)
郷土史講座「考古学からみた霊山の歴史」
 所 伊達市・保原総合公園管理事務所 時 10:00
 料 無料(要申込) 講 佐藤俊(県文化振興財団遺跡調査部)
 問 伊達市保原歴史文化資料館(024)575-1615
 ※定員先着50名(要申込)。「伊達市保原歴史文化資料館 収蔵資料展『ふるさとの山 霊山』」関連イベント。電話にて申込受付。

その他

3/2(日)・3(月)
第23回 あだたら万遊博 おかみと過ごすひな祭り
 所 二本松市・岳温泉街 時 料 イベントにより異なる
 問 岳温泉観光協会(0243)24-2310
 ※二本松市の岳温泉街を中心に、津軽三味線と琴による特別演奏会やワークショップなどを開催(要申込)。3月9日(日)までは、岳温泉街の店先や旅館に「つるし雛」も展示する。申込方法等の詳細については観光協会へ要問合せ。

震災からの県民の「心の復興」と福島県を担う人材育成を目的に実施する公益目的事業「未来への文化発信事業」を推進しております。

この事業への寄附をお願いします。



財団トピックス

福島県文化センター

「バリアフリー公演」終幕！ 障がいの有無によらずミュージカルを楽しめる公演を実現

12月18日、須賀川市文化センターで当財団の主催事業「バリアフリー公演 ミュージカルシアターラーニング〜大切なことは目には見えない」を開催しました。
 「星の王子さま」を題材に、ミュージカルとワークショップを融合したプログラムで、障がいのある方も楽しめるよう、舞台上の手話通訳者によるセリフの同時通訳や字幕、難聴者の聞こえを補助する磁気ループの設置などの鑑賞サポートを取り入れました。
 当日は、県内7つの特別支援学校の生徒さんをはじめ、総勢430名が鑑賞し、「またこのようなミュージカルをやってほしい」などの感想をいただきました。



来場者が俳優とともにリズムに乗って身体を動かす場面も

シンポジウム終了！文化による地域創生に必要な仕組みを議論しました

1月24日、シンポジウム「演劇等による住民参画事業を考える～文化による地域創生に必要な仕組みとは～」を開催しました。
 基調講演では、福岡県筑後市のホールが行っている「こどものえんげきひろば」を例に、演劇を通して子どもたちの成長と地域の交流を促すまちづくりに貢献する意義が語られました。続いて、当財団が取り組んでいる事業の中間報告と来年度の公演概要を紹介しました。
 登壇者6名によるパネルディスカッションでは、白河市と長野県上田市の事例も加わり、住民参画型事業が地域創生に有効となる仕組みづくりの議論が展開されました。
 公立文化施設の職員や行政担当者ら60名が聴講し、質疑応答を通して、地域の活性化に演劇が持つ可能性について意見が交わされました。



パネルディスカッションで自身の紹介をするダルライザー(右) 登場の際には会場から歓声が上がった

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター) 管理事務所で販売中のチケット

当事務所の窓口では、以下のチケットを販売しています。管理事務所へのアクセスは、文化センター公式YouTubeチャンネルでルート案内動画を公開しています。お気軽にお立ち寄りください。

- 所在地 〒960-8115 福島県福島市山下町1-25
- 営業時間 月曜～金曜日 9:00～17:00
- 定休日 土曜・日曜・祝日と年末年始(12/28～1/4)
- 連絡先 電話(024-534-9191)、FAX(024-536-1926)



〈自家用車の場合〉



〈公共交通機関の場合〉

| イベント名 | 会場 | 開催日時 | 料金(前売) | お問合せ |
|---------------------------------|----------------------------|---------------|-------------|-------------------------------|
| 第22回 飯坂温泉太鼓まつり | 福島市・バルセイイざか(福島市飯坂温泉観光会館) | 3月9日(日)13:00 | 中学生以上3,000円 | 実行委員会(飯坂温泉観光協会内)(024)542-4241 |
| 福島室内合唱団 第6回 定期演奏会 | 福島市・キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ) | 3月30日(日)14:00 | 2,000円 | 事務局(024)524-1630 |
| 眞白の会 グループ“m”第33回演奏会 レディエントコンサート | 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) | 4月13日(日)13:00 | 2,000円 | 眞白の会(090)9566-3815 |
| 伊藤光敏ヴァイオリン リサイタル | 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) | 4月19日(土)14:00 | 2,000円 | f事務所(024)524-3531 |

スポットライト

— 今、注目のイベント情報

東日本大震災・原子力災害伝承館 2024 年度 企画展
長期避難と祭り ～伝統文化がつなぐ地域住民の絆～

コミュニティ復活を目指す 被災地域の奮闘をたどる

#6 常任研究員 葛西優香さん、学芸員 梅津拓斗さん

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故の被災地域では、住民の長期避難により多くの伝統文化が途絶えた。しかし、代々受け継がれてきた祭りや民俗芸能を自分たちの代で無くしてはいけないと、避難先での活動再開や、新たな形で伝統を守ろうとする動きもある。企画展は、双葉郡8町村と飯舘村の25の民俗芸能団体への取材により、祭事や神事の復活に向けた取り組みが、失われた地域コミュニティの復活への兆しとなる可能性に着目し、各団体の活動事例を紹介するものである。

本展では、実際に祭りで使用している神輿や獅子頭、衣装などが展示され、地域ごとの個性を比較しながら見ることができる。梅津さんは「団体の皆さんの想いが込められた実物を見てほしい」と話す。また、各芸能団体の代表者へのインタビューを紹介する展示パネルは、地域の人々の生活史を記録するのが重要との思いから、伝統の復活に奮闘する



獅子頭に見える継承の軌跡を解説する葛西さん(中央)

人々の語りや、方言もそのままに綴られている。このほか、避難先や故郷で活動を復活させた団体だけでなく、活動休止を余儀なくされている団体の映像も見る事ができる。

葛西さんは、「地域の人々のリアルな姿を伝えたい。皆さん、伝統を守り抜く強い思いで、懸命に続けている」と語る。

各地域が抱える課題は、被災地域以外にも通じる普遍的なものである。葛西さん、梅津さんともに、「自分の故郷に置き換えて、自分事として見ていただきたい」と強く語った。



開催までを振り返る葛西さん(左)と梅津さん(右)

長期避難と祭り ～伝統文化がつなぐ地域住民の絆～

日時：開催中～3月24日(月)
9:00～17:00(最終入館 16:30)
会場：双葉町、東日本大震災・原子力災害伝承館
料金：一般・大学生 600円
小・中学・高校生 300円
障がい者無料(障がい者手帳要提示)
休日：火曜日(3月11日をのぞく)、
2月26日(水)～2月28日(金)
問合せ：伝承館(0240)23-4402

